

高齢者と地域学生による世代間交流

学生団体名 金沢医科大学ボランティアサークル (Heart Of Gratis)

参加学生 崎田志帆, 竹脇夏美, 谷田紗椰, 西村麻里那, 西田梓, 浦野綾, 他 15 名

1. 地域活動の概要

地域学生の参加による高齢者イベントの活性化と健康増進という目的のもと、内灘町の地域公民館で行われている小地域高齢者福祉活動事業(ふれあいいいききサロン)等の活動に学生が参加し、高齢者の方と共にイベントを企画・立案し、世代間交流を行っている。本年度は2年前から交流を続けている旭ヶ丘公民館に加え、新たに大学町公民館・鶴ヶ丘西公民館の高齢者の方々の世代間交流の機会を創出し、高齢者の方の生きがいづくりや健康増進、学生の学びの場づくりに繋げるとともに、男性参加者の増加と地域の活動の幅の拡大を目指した。

2. 地域活動の具体的な内容

1) 実施日時と参加者数

日時	参加者数		会場
	学生	高齢者	
7/21 (日) 14:00~16:00	10人	10人	大学町公民館
9/14 (土) 10:00~12:00	6人	22人	鶴ヶ丘西公民館
12/1 (日) 10:00~13:00	15人	14人	向栗崎公民館

2) 活動内容

①7/21 大学町公民館 身体を使ったレクリエーションと座談会

新たな交流先として、本学と同じ町会にある大学町の高齢者サロンの方々の交流を行った。初めての交流であることを考慮し、事前に高齢者サロンの代表の方と企画内容を相談し、双方が打ち解けられるような雰囲気を作れるよう心掛けた。身体を使ったレクリエーションとして、フライングディスク、ストライクボード、ペタンクなどのゲームを3チームに分かれて競い合ったり、高齢者の方に教わりながら炭坑節を踊ったりした。その後、高齢者と学生間で自由に話し合う座談会を行い、交流を深めた。



ペタンクで競う



炭坑節を教わり踊る

②9/14 鶴ヶ丘西公民館 ○×ゲームとジェスチャーゲームと座談会



健康についての○×クイズ



ジェスチャーゲーム



座談会

鶴ヶ丘西の高齢者サロンの方々との交流も初めてであったことから、事前に企画の要望等を聞き、代表の方との相談を行い実施した。ゲームなどの交流以外に「健康に関する知識を教えてほしい」との要望があり、ゲームに加え、健康に関するクイズを新たに取り入れた。クイズは、高齢者の方が健康に関する知識を学べるように転倒や骨粗鬆症など高齢者の生活の中で起こりやすい内容を中心とした問題を学生が事前に作成し、○×形式で解答する形で実施した。

ジェスチャーゲームは、高齢者と学生の混合で3チーム作り、どのチームが一番多く答えられるかを競った。

その後、お茶を飲みながら高齢者と一緒話を楽しみ、交流を深めた。

③12/1 旭ヶ丘公民館サンドイッチづくりと座談会



サンドイッチづくり



コンソメスープづくり

2年前から交流を続けている旭ヶ丘の高齢者サロンでは、料理作りを通じて親睦を深めてきた。今年度は、高齢者の方々からの「若い人の作る料理を教えてほしい」との要望に応え、学生が主体となって、サンドイッチ、コンソメスープ、デザートレシピを作り、高齢者の方と一緒に調理をした。調理後は、一緒にテーブルを囲み、料理の出来栄を確認したり、称えたりして、楽

しい会話をしながら交流をした。食事の後には、テーブルごとのチームに分かれ、学生が作成した健康に関するクイズを出題し、高齢者と学生とが相談しながら答え、和気あいあいとした楽しい時間を過ごした。旭ヶ丘の高齢者の方からは、「来てくれるのをずっと待っていた」、「今年は来てくれないのかと心配していた」、「孫と再会するような感じで、会えるのがとても嬉しい」といった声が多く聞かれた。終了間際には、高齢者の方からのサプライズ企画として、激励の言葉が書かれた色紙や手作りの置物が参加した学生一人ひとりに贈られた。我々が続けてきた交流が、地域の方々との深い絆を築き上げる活動へと繋がったように感じた出来事であった。



旭ヶ丘公民館の方と学生



高齢者の方から頂いた置物や飾り

3. 地域活動の評価

今回の活動では、2年前から交流を続けている旭ヶ丘公民館に加え、内灘町の他の公民館からの「学生との交流をしたい」との要望を受け、鶴ヶ丘西公民館と大学町公民館でも交流を行った。この2か所は初めての交流となったが、これまでの経験を踏まえて事前の調整を行ってからイベントを実施したため、「楽しかった」、「また来てほしい」など高評価をいただき、今後も継続して交流を深めていくきっかけとなったと考える。また「看護学生ならではの健康に関する知識を教えてほしい」といった要望に関しては、学生が作成した健康に関する〇×クイズを実施したり、座談会の際に健康について話し合ったりする企画を実施した。この企画に関しても高齢者の方からは好評を得ることができ、高齢者の方々の健康に対する関心を深めるきっかけにもなったのではないかと考える。3年目の交流となった旭ヶ丘公民館では、顔見知りの学生には「久しぶりやね」、「元気にしてた?」、初めての学生には「新人さんやね。よろしく」などの声が聞かれ、高齢者の方々が我々との交流を楽しみにしている様子が伺われ、継続的に交流していくことの重要性を改めて感じた。また課題であった男性の参加率の向上に関しては、男性も参加しやすいような企画となるよう代表の方々の事前相談を行い工夫した結果、昨年度よりも参加者が増えたのではないかと考える。

4. 今後、この地域活動を継続、活発にしていくために必要なもの、及び課題

今回の活動での反省より、今後の課題として3つのことが挙げられる。1つ目の課題は、公民館ごとの参加者の特性に合わせた活動にすることである。大学町公民館や鶴ヶ丘西公民館で行った企画では、参加者の中に足腰の弱い高齢者の方がおられ、見学のみとなられた方がいらした。次回からは、参加者の把握を十分に行い、障がいのある方がおられた場合には、その方々が参加できるようなゲームを取り入れるなどの工夫が必要であると考えられる。

また、昨年度の課題として挙げた男性の参加者の増加に関しては、鶴ヶ丘西公民館で一定の成果が見られたが、料理作りを主体として活動した旭ヶ丘公民館では男性の参加者がひとりもなかった。活動が料理であったことが男性の参加がしにくい要因となったと考えられるので、今後は事前に情報収集を行い、男性が参加しやすい企画を立案して交流していくことが必要であると考えられる。2つ目の課題は、高齢者以外の世代との交流である。これまでの活動では、内灘に住む高齢者の方との交流を主にして活動を行ってきたが、今後は交流の対象をさらに広げ、地域貢献したいと考えている。障がいを持たれている団体からも「交流を求めてほしい」との要望があるので、障がい者の方をはじめとして、他の様々な方々へも対象の幅を広げ、地域貢献の拡大に繋がる活動をしていこうと考えている。3つの課題は、交流の場の拡大と交流の量や質の確保である。今回、大学サロンや鶴ヶ丘西サロンなど内灘での活動の場を拡大することができたが、活動の場を広げるにより一つひとつの公民館での交流の回数が減ったり、十分な準備ができなかったといった反省点が挙げられた。マンパワー不足が大きな原因であると考えられるので、サークル自体の活性化に加え、他のボランティア団体との連携なども視野に入れ、活動を強化していく必要がある。

5. 学生の感想

新規に実施した鶴ヶ丘西公民館と大学町公民館では、活動に参加する前までは「初めて会った人とうまく話すことができるのか」「参加者のみなさんに楽しんでもらえるのか」など不安があった。しかし、実際にクイズやゲームをとおして参加者のみなさんに関わることで、不安が次第に和らいでいくのを感じた。さらに、交流を継続している旭ヶ丘公民館の高齢者の方々からは、我々が来ることを心から楽しみにされていることが伝わってきて、世代を超えて交流し続けることにより深い絆が繋がってくるということを感じることができた。今後、新たに交流を始めた他の公民館でもそのような関係を築いていけたら良いと感じた。また、交流の場を広げたことにより、交流する場によって対象者の特性が異なっていることに気づくことができ、新たな視点を持つきっかけにもなった。高齢者の方々からは、別れ際に「頑張って、いい看護師になってね」、「ありがとう、楽しかった」という言葉をいただき、素直にうれしく思った。他の世代との関わりが少ない学生にとっても、高齢者の方との関わりはコミュニケーション能力の向上にも繋がったのではないかと考える。これらの経験をもとに、今後の学校での授業や実習、ボランティアの活動により積極的に取り組んでいきたいと思えるようになった。

6. 地域からの評価

参加者の発言で多かったのは、「楽しかった」「来てくれるだけで嬉しい」「この日を楽しみにしていた」「若い人と話せる機会があって良かった」などという好意的な意見であった。そして、「また来てね」や「また会えたらいいね」など活動の継続を望む声も多く聞かれ、参加者の方々の表情は笑顔で明るいものであり、今回の活動は地域から一定の評価をいただいたものと思っている。一方、「もっと来る回数を増やしてほしい」「看護学生が来るなら、高齢者が気をつけるべきことを教えてほしい」などという発言もきかれ、改善すべき点も明らかとなった。今まで実施した様々なゲームに加え健康について考える機会の場を積極的に取り入れてほしいという要望や、活動の場を広げたところで「同じ公民館での活動の回数が減り残念だった」という言葉も聞かれ、これらの内容は今後の課題として取り組む問題であると考えられる。